

南スーダン自衛隊撤収へ

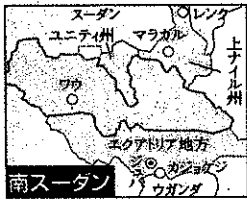
違憲派兵大破たん

国民世論・運動が追い込む

政府は10日夕、国家安全保障会議（NSC）を首相官邸で開き、南スーダンPKO（国連平和維持活動）に派兵している陸上自衛隊を5月末に撤収させることを決めました。陸自が活動している首都ジュバの情勢悪化について国会で野党の追及を受け、国民の世論と運動の盛り上がりの中、撤収に追い込まれたものです。

安倍政権は憲法9条破壊の安保法制と戦争法の最初の具体化として、昨年11月に派遣された第11次派遣部隊に「駆け付け警備」など新任務を付与。「海外で戦争する国」づくりの第一歩にするべきだと狙っていました。大破綻に追い込まれました。

由については「南スーダン 針ですが、実動部隊が途絶の国境が新たな段階を迎える中、自衛隊が担当し、派兵路線そのものも深刻な一定の区切りをつけることができる」と判断したと述べ、政府は南スーダンについて「紛争当事者間の停戦合意」などPKO参加原則は維持されていると説明してききました。しかし、昨年7月にジュバで発生した大規模な武力衝突について記



記者の質問に答える小池晃書記局長（10日、国会内）

小池書記局長が会見

安倍首相はNSC終了後に記者会見し、現在従

日本共産党の小池晃書記局長は10日、政府が同日、南スーダンPKO（国連平和維持活動）の陸上自衛隊施設部隊の撤収を表明したことを受け、「南スーダンへの憲法違反の派兵の破たんは完全に崩れ去っており、すみやかに撤退すべきだと迫ってきた」と述べ、同じく今日の安倍首相の会見でもそのことは一切触れず、道義建設が終わったから撤収する、という説明だ。こんなごまかしには国民も

「私たちは南スーダンが事実上の内戦状態にあり、PKO参加原則は完全に崩れ去っており、すみやかに撤退すべきだと迫ってきた」と述べ、同じく今日の安倍首相の会見でもそのことは一切触れず、道義建設が終わったから撤収する、という説明だ。こんなごまかしには国民も

「私たちが南スーダンが事実上の内戦状態にあり、PKO参加原則は完全に崩れ去っており、すみやかに撤退すべきだと迫ってきた」と述べ、同じく今日の安倍首相の会見でもそのことは一切触れず、道義建設が終わったから撤収する、という説明だ。こんなごまかしには国民も

「私たちが南スーダンが事実上の内戦状態にあり、PKO参加原則は完全に崩れ去っており、すみやかに撤退すべきだと迫ってきた」と述べ、同じく今日の安倍首相の会見でもそのことは一切触れず、道義建設が終わったから撤収する、という説明だ。こんなごまかしには国民も

「私たちが南スーダンが事実上の内戦状態にあり、PKO参加原則は完全に崩れ去っており、すみやかに撤退すべきだと迫ってきた」と述べ、同じく今日の安倍首相の会見でもそのことは一切触れず、道義建設が終わったから撤収する、という説明だ。こんなごまかしには国民も

した日報に戦況を簡潔にたぐとあわせ、厳しい批判にさらされてきました。今年1月で5年を迎え、第11次隊までのべ38854人にも上っています。施設部隊の隊員数は、人にのぼります。